

「イノベーション探究Ⅱ」～グローバル・ジャスティスプログラム～

第6回（中間報告会）

1. 実施日

令和3年6月26日（土）1、2限

2. 場所

331教室 D-1～D-5（19名）

332教室 B-1～B-5（20名）

333教室 C-1～C-5（19名）

334教室 A-1～A-5（21名）



3. 対象

グローバル科2年生（6・7組）

4. 講師

大阪大学 全学教育推進機構 准教授 堀一成先生

大阪大学 全学教育推進機構 准教授 坂尻彰宏先生

大阪大学TA 殷琦さん 小川主税さん 櫻林修平さん 杉山恵梨さん

林源太さん 水野幸弥さん リアアさん 山本恭平さん

5. 内容

「研究報告書」Ver.1をもとにした中間発表と講評・助言

1限 「研究報告書」Ver.1をもとに中間発表（発表と質疑応答で8分間）を行う。

（1）講師・TA紹介、本日の目的と進め方（8:40～8:45）

（2）1回目 8:45～8:53（発表：A, B, C, D-1 必ず質問：A, B, C, D-4）

2回目 8:54～9:02（発表：A, B, C, D-2 必ず質問：A, B, C, D-5）

3回目 9:03～9:11（発表：A, B, C, D-3 必ず質問：A, B, C, D-1）

4回目 9:12～9:20（発表：A, B, C, D-4 必ず質問：A, B, C, D-2）

5回目 9:21～9:29（発表：A, B, C, D-5 必ず質問：A, B, C, D-3）

発表チーム以外はオーディエンス参加。積極的に質問する。

2限 大阪大学の先生、TAの方から講評をいただく。

その後、チームで「研究計画書」Ver.2を作成し、完成させる。

TAの方は巡回指導。

6. 学び

発表、質疑応答、評価者からの評価・コメント、講評をとおして、「研究報告書」Ver.1の疑問点や不足事項を見つけ、より具体的なリサーチクエスチョンを設定し、「研究計画書」Ver.2を作成する。

7. 次回への課題

「研究計画書」Ver.2に基づき、「調査シート」②を各自で作成する。7月10日の大阪大学ワークショップ「よい研究発表とはどういうものか？」を受講し、自分たちの探究の質を検証する。

8. 本時の振り返り

生徒たちは様々工夫を凝らした発表をし、互いに活発に質問もしながら中間報告会を終えることができた。報告会后、大阪大学教授およびTAの皆様から各班に対してフィードバックがあった。それを受け、熱心に耳を傾けながら、研究計画書 ver.2 の作成に取り組むことができた。もう少し班で話し合う時間があればよりよいが、スケジュールの関係上難しそうである。

